レンチキュラー加工用
データ入稿時のお願い

ラスター画像（jpg、psd、eps 等）でのご入稿・・・Adobe Photoshop

①**解像度**：350dpi（原寸サイズ）
　※それ未満の場合、仕上がり製品サイズにより画像が粗くなってしまう場合があります。

②１ファイル内に画像がレイヤー分けされている場合は、統合せずにそのまま入稿ください。

③**レイヤー効果**：レイヤーの「描画モード」（乗算、スクリーン、オーバレイ…etc.）等の効果は反映されません。「描画モード：通常」のみをご使用ください。

④**データサイズ**：製品サイズ＋塗り足し幅（左右上下・各15㎜）のサイズにしてください。

⑤デジカメで撮影する場合は、1,000 万画素以上を推奨します。

⑥パーツデータ以外に、完成イメージデータを添付してください。

ベクトル画像でのご入稿・・・Adobe Illustrator

①文字はすべてアウトライン化してください。

②**データサイズ**：製品サイズ＋塗り足し幅（左右上下・各15㎜）のサイズにしてください。

③配置されている画像は別に添付してください。
　※配置画像を使用している場合はの条件は、上記“ラスター画像③”の内容に準じます。

作成時のワンポイントアドバイス

- レイヤー数に制限はありません。複数のレイヤーが重なり合っているレイアウトが、より効果的な3Dが作れます。
- ベタ色や横方向のストライプ柄等は、背景画像には不向きです。
　※深度を付けても左右の動き（ブレ）を認識できないためです。
- 最前面、最背面の画像はなるべくボケでもよい画像、中間にはっきり見せたい画像を配置するとより３D効果が高くなります。
- 縁取りがある文字やイラスト等は、３D加工をするとぼやけて見えにくくなるおそれがあります。